

橋梁分野で事業提携

経営資源の相互活用で、良質な社会インフラ整備に貢献

新日鉄エンジニアリング株式会社（社長：羽矢 惇、本社：東京都千代田区、新日本製鐵が 100%出資）と三菱重工橋梁エンジニアリング株式会社（社長：東 完夫、本社：広島市中区、三菱重工業が 100%出資）は、橋梁分野で事業提携することに合意致しました。

橋梁の材料、開発・設計、製造、現地施工から保全に至るまで、両社の得意とする技術・ノウハウを融合させ、新たな高度技術案件に迅速かつ効率的に対応して、更なる事業強化をはかってまいります。

具体的検討項目としては、デザインビルド（設計／施工一貫方式）案件など高度な技術提案プロジェクトや大型プロジェクト等に共同で取り組んでいくほか、新製品・新技術の開発や、アセットマネジメント^{*}など予防保全事業の創出について連携し推進します。また、両社が保有する研究開発技術や特許技術、架設機材などの相互活用を行っていくほか、購入品の共同調達、人材育成のための共同の取り組みなども推し進めてまいります。

新日鉄エンジニアリングは、鋼材をベースに材料・溶接・防食を始めとする一貫開発体制を有し、橋梁のみならず、海洋構造物・ケーブルなど鋼構造事業全般に厚い技術基盤を保有しています。

三菱重工橋梁エンジニアリングは、三菱重工の橋梁部門が 2006 年 4 月に分離・統合して発足した橋梁を主体とする事業会社です。長大橋・特殊橋をはじめとする豊富な施工実績と多数の技術者を擁する業界のリーディング・カンパニーで、耐風・耐震・特殊施工技術などに高い技術開発力を保有しています。

橋梁事業は、ここ数年の品確法（公共工事の品質確保の促進に関する法律）の成立や、総合評価制度^{**}の本格導入などに伴い、高度な技術力の重要性が一段と高まってきています。今回の提携は、経営資源を相互有効活用することにより、シナジー効果を生み出し、競争力を強化しつつ、厳しい市場変化を乗り切っていくことで両社の思いが一致したものです。今後、両社は安全・安心な社会資本整備を求める広範な社会的要請に共同で応えてまいります。

両社は、基本合意に基づき、事業提携を推進してまいります。必要に応じ、橋梁以外の製品・事業への提携の拡大や、提携関係の強化も検討していきます。また、併せて、更なるメリットが得られると判断すれば、他のメーカーの参画についても協議してまいります。

以 上

* アセットマネジメント

国民生活に不可欠な社会資本(インフラ)の利便性、安全性などのサービス水準を確保し、利用者の便益を最大化するための～最小の経費で最も効果的な歳出(維持・補修・更新の整備)を適正に執行するための～社会資本管理システム。

** 総合評価制度

価格と品質・技術力を総合的に評価して、落札者を決定する入札方式。

両社の経営概要

項目	新日鉄エンジニアリング(株)	三菱重工橋梁エンジニアリング(株)
事業内容	橋梁、海洋・港湾施設、石油・ガス開発施設、エネルギー施設、製鉄プラント、ごみ熔融炉、建築・特殊鋼構造等の製造据付など	橋梁、煙突等鋼構造物等の製造据付、販売、修理など
設立	2006年 7月	1972年10月 2006年 4月(分離・統合)
本店所在地	東京都千代田区大手町 2丁目6番3号	広島県広島市中区江波沖5番1号
支店・営業所所在地	東京、札幌、仙台、名古屋、大阪、広島、福岡	東京、札幌、仙台、横浜、名古屋、大阪、高松、長崎、那覇
橋梁工場所在地	*若松(日鉄ブリッジ)	広島
工場生産能力(年間)	約3万トン	約3万トン
代表者	代表取締役 社長 羽矢 惇	代表取締役 社長 東 完夫
資本金	150億円	50億円
従業員	1,200名(平成19年4月)	410名(平成19年4月)
大株主及び比率	新日本製鐵(株) 100%	三菱重工業(株) 100%
主要取引銀行	三菱東京UFJ銀行 みずほコーポレート銀行	三菱東京UFJ銀行

*新日鉄エンジニアリング(株)グループ会社の一つとして、日鉄ブリッジ(株)(代表取締役社長：藤田 泰、資本金：4.5億円、従業員：170名)が国内向一般橋梁事業の実行主体となっている。